



かわち

第54号 2019.5.15 発行



かわち学園入学式



Contents

- 第1回河内町議会定例会……P2
- 一般質問……………P5
- 議員活動……………P9

平成31年

第1回河内町議会定例会

3月6日から3月15日までの10日間の会期で開かれた定例会において、提出された条例改正等7件、補正予算・新年度予算、人事案件について審議されました。
その結果についてお知らせします。

◆ 議案の内容と結果 ◆

		審議結果 (賛成:反対)
議案第1号	河内町森林環境譲与税基金条例の制定について	原案可決 (11:0)
	河内町森林環境譲与税基金を設置することに伴い、木材の利用の促進や普及啓発等の事業に要する経費の財源を積み立てるため、本条例を制定するもの	
議案第2号	河内町税条例の一部を改正する条例	原案可決 (11:0)
	固定資産税納税通知書の早期発送を可能とする為、本条例の一部を改正するもの	
議案第3号	河内町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 (11:0)
	茨城県医療福祉対策要綱等の一部が改正され、平成31年4月1日から重度障害者の給付対象を拡大することに伴い、本条例の一部を改正するもの	
議案第4号	河内町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 (11:0)
	災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正及び災害弔慰金の支給等に関する法律施行令の一部改正に伴い、本条例の一部を改正するもの	
議案第5号	河内町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決 (11:0)
	国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、本条例の一部を改正するもの	
議案第6号	河内町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 (11:0)
	技術士法施行規則の一部を改正する省令の施行に伴い、本条例の一部を改正するもの	
議案第7号	河内町消防団条例の一部を改正する条例	原案可決 (11:0)
	消防団員の費用弁償の見直しに伴い、本条例の一部を改正するもの	
議案第8号	平成30年度河内町一般会計補正予算(第5号)	原案可決 (11:0)
	歳入歳出予算の総額に4,601千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ5,189,708千円とするもの	
議案第9号	平成30年度河内町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (11:0)
	歳入歳出予算の総額に40,000千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1,349,442千円とするもの	



議案第10号	平成30年度河内町介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (11:0)
	歳入歳出予算の総額に85,000千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1,143,542千円とするもの	
議案第11号	平成30年度河内町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (11:0)
	歳入歳出予算の総額に3,000千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ111,224千円とするもの	
議案第12号	平成30年度河内町下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決 (11:0)
	歳入歳出予算の総額から7,000千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ339,551千円とするもの	
議案第13号	平成30年度河内町水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決 (11:0)
	益的支出の予定額の総額から955千円を減額し、収益的支出の予定額の総額を254,607千円とするもの	

※議長は可否同数のとき以外は表決に加わりません。

人事案件

河内町農業委員会委員の任命について

【任期】平成31年4月1日から
平成34年3月31日まで

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 大野 和巳氏
河内町生板4971番地 | 大原 和子氏
河内町片巻353番地 |
| 村野 誠氏
河内町龍ヶ崎町歩307番地 | 栗山 功氏
河内町下加納230番地 |
| 杉山 隆男氏
河内町古河林564番地1 | 駒塚 薫氏
河内町金江津3886番地 |
| | 内藤 洋一氏
河内町金江津5022番地 |

鈴木 実氏
河内町源清田2364番地5

大竹 清氏
河内町長竿170番地1

雑賀 義徳氏
河内町長竿3902番地

**茨城県後期高齢者医療広域連合
議会議員に諸岡周示議員が再任**

茨城県後期高齢者医療広域連合の議会議員として、平成31年3月19日の任期満了に伴い、構成する全市町村議会から各一人議員を選挙するもので、本町議会からは指名推薦により、諸岡周示議員が再任されました。



お詫びと訂正

議会だより第53号の表紙 Contents に誤りがございました。
(誤) 第3回河内町議会定例会 (正) 第4回河内町議会定例会

お詫びして訂正致します。

予算審査特別委員会 審査報告

去る、3月6日開会されました平成31年第1回河内町議会定例会におきまして、予算審査特別委員会に付託されました案件について、審査の結果をご報告いたします。

議案第 14 号	平成 31 年度河内町一般会計予算
議案第 15 号	平成 31 年度河内町国民健康保険特別会計予算
議案第 16 号	平成 31 年度河内町介護保険特別会計予算
議案第 17 号	平成 31 年度河内町介護サービス事業特別会計予算
議案第 18 号	平成 31 年度河内町後期高齢者医療特別会計予算
議案第 19 号	平成 31 年度河内町下水道事業特別会計予算
議案第 20 号	平成 31 年度河内町水道事業会計予算

以上、7議案について、3月6日、7日の2日間にわたり全委員出席のもと委員会を開催し、各担当課長の出席を求め慎重に審査をいたしました結果、付託された案件はすべて原案のとおり異議なく可決すべきものと決定いたしました。

尚、審議の詳細につきましては、議長を除く全議員が当委員会の委員でありますので割愛させていただきます。

以上が審査の結果であります。当局におかれましては、審査の過程で委員各位から出されました質疑、意見等について十分に意を用いられ事務の執行に当たられるよう申し上げ、予算審査特別委員会の審査報告を終わります。

平成31年3月15日

予算審査特別委員会委員長

星野 初英

平成31年度予算を可決

会 計 名		31 年度予算額	前年度増減率 (%)
一 般 会 計		43 億 8,473 万円	0.9
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	12 億 3,202 万円	-4.0
	介 護 保 険	12 億 1,415 万円	15.7
	介 護 サービス 事 業	945 万円	5.2
	後 期 高 齢 者 医 療	1 億 1,582 万円	7.2
	下 水 道 事 業	2 億 8,435 万円	-10.2

水 道 事 業 会 計	収 益 的 収 入	2 億 5,423 万円	-0.1
	収 益 的 支 出	2 億 5,423 万円	-0.1
	資 本 的 収 入	0 円	0.0
	資 本 的 支 出	8,833 万円	56.6



一般質問

平成31年第1回定例会において、3名の議員が町政について質問しました。要旨をまとめたものです。詳しくはホームページをご覧ください。



星野 初英
議員

食品ロス削減について

議員 学校給食の食品ロスの取り組みについて伺いたい。また、きずなBOXの設置、フードバンクや食品ロスの周知はどのように考
えるか。

教育委員会事務局長

学校給食の食品ロスは、調理段階での調理くずと給食提供後の食べ残しで発生している。肉と魚はカットされたものを使用するため発生しな

いが、野菜の皮や切れ端などは生ご

みとして廃棄。学校給食では幼少期から塩分の少ない薄味になれ、食材そのものの味を大切にし、将来の健康増進につなげるという目的により、1日の塩分摂取量を考えて調理しているが、塩分の少ない薄味の献立の食べ残しが多い傾向。

食べ残しを減らすための取り組みとして、毎週水曜日に給食委員会の児童生徒が副菜の残食調査ランキングを発表し、多くの食品が捨てられていることを実感することで、食べ物を大切にすることを育て、競い合っ
て食べ残しを少なくする実質的な効果は得られている。配膳する際、食べられない人に少な目、多く食べた人に多目に分けるようにクラス内で調整している。食材への興味関心を持たせるために収穫体験、米、ネギ、レンコンなど一部の野菜、納豆

や豆腐などの地場産品を使用している。引き続き、可能な限り地場産品の使用を推進し、農作物の生産者から子供たちが直接話を聞く機会を設け、作物ができるまでの作業の大変さを理解し、食材への感謝の気持ちを養う学習も行っていく。

学校給食が自校式となって10カ月がたち、残食の少ないものの傾向がわかってきたので、栄養摂取のバランスに考慮しつつ、子供たちの嗜好を献立に反映して食べ残しを減らすことに取り組んでいきたい。各家庭での取り組みも非常に大切であり、献立表に食べ残しや偏食、食生活が体に与える影響など食育に関する記事を掲載し各家庭に配布、かわち学園のホームページに掲載することで啓発に努めている。

福祉課長

フードバンクとは、企業や個人から食料品の寄附を受け、食品を必要とする福祉施設や経済的に厳しい生活を送る人たちに配給する活動。町では、社会福祉協議会で平成27年10月19日にフードバンク茨城と食品の

提供について契約。活用については、生活困窮者の資金貸付相談や生活保護相談の際、生活自立のために一時的な食品の提供が必要と認められた場合、フードバンク茨城に食品を依頼し、対象者へ渡している。

現在、町にはきずなBOXは設置されていないが、社会福祉協議会に持っていけば、フードバンクに届けてもらえることになっている。社会福祉協議会としては役場や出先機関窓口での協力により品物が多く届く状況になれば、きずなBOXの設置申請を考えたとのこと。少しでも無駄な食品が出ないように、社協だより、社協ホームページ、「広報かわち」に掲載をお願いする予定。



ペーパーレス化について

議員 ペーパーレス化導入の考えと、メリット・デメリットについて伺いたい。

総務課長

現時点で具体的な計画はないが、近隣自治体の先行事例として、美浦村では東日本大震災後、災害に強い情報連携システムを構築するために、平成27年6月、議案書、一般質問資料等の紙配付を全廃し、完全ペーパーレス化を実現、9月には議場に電子掲示板を導入しており、導入費用等にも留意しつつ皆様の意見を伺いながら、検討していく課題と考える。

メリット、効果は、災害時等、地域住民への情報伝達手段、議員への通知や連絡が迅速にできる、議員と議会事務局、執行部の情報共有により議会活動が円滑化、議員同士のコミュニケーションツールの強化、用紙代や印刷代の削減などがある。ペーパーレス化により紙の使用量を

減らすことでCO₂排出量の削減、郵送費等の削減、業務の効率化、書類等の収納保管スペースの縮減等も図れる。

デメリットは、タブレット端末等の機器、サーバ機器、ソフトウェア等の購入経費、機器を設置する際の整備経費などの導入経費、システムの保守等にかかる経費やタブレット端末の使用に伴う通信経費等が生じる。システムの運用面では、議員及び職員等がシステムの操作になれるための研修やマニュアルの整備等のサポート体制、タブレット端末の使用に伴う通信経費の負担のあり方等も課題になる。

町は十分に検証しながら、さらなる行政サービスの向上及び業務の効率化等を目指してペーパーレス化の推進を検討していく。



防災対策について



篠原 佳治
議員

議員 新利根川に救難救助用のスロープを、また利根川に資機材などを上げ下ろしできるスロープをつつみ会館南側公園付近に整備してはどうか。

総務課長

現在、水難事故等に対応するために、町に接している利根川の左岸には河川管理者の国により整備された救難救助用スロープは長豊橋上流、常総大橋下流、圏央道下流の3カ所、県管理河川である新利根川は、町に接している区域に救難救助用スロープの整備は行われていない。新利根川や利根川での水難事故発生時、主に稲敷広域消防本部等が所有する救助ボート等により救助活動を行うこ

ととなるが、実際は人力で上げ下ろしができる救助用ボートの使用が多い。

新利根川及び利根川への新たな救難救助用スロープの整備は、それぞれの河川管理者である茨城県及び国が行うことが望ましいと考えており、新利根川への救難救助用スロープの整備には、川に接している町道の改修工事等を行うことも必要。利根川への救難救助用スロープの整備には、つつみ運動公園前の川岸には河川管理者である国が設置した護岸の浸食を防止する地固め用のコンクリートブロックがあり、町がこのコンクリートブロックの一部を撤去、移動することは、国の担当部署から利根川の治水対策上、問題が生じる懸念があるとも指摘されている。

町が新利根川及び利根川に新たに救難救助用スロープを整備するには、それぞれの河川の整備条件や設備の維持管理方法、救難救助用スロープ整備にかわる代替案の検討等も含めて、河川管理者の茨城県及び国、救難救助の主軸ともなる稲敷広域消防本部等とも協議を行う必要があり、施設整備に係る条件や町の財



政負担等も十分に検証し、町長や財政担当等とも相談しながら検討をしていく課題である。

議員 町に接する2本の川を幅広く利用できる水辺の公園として整備されれば若い人からお年寄りまで集える公園となるのではないか。

町長 消防関係、利根川の河川管理及び新利根川の関係者と、現地で状況を見ながら相談していきたい。

環境問題について

議員 町にごみの不法投棄、ポイ捨て条例は設けており、行使するのは難しいと思うが、これまでどのような行動をとり、今後どのようなことが考えられるのか。

都市整備課長

現在の対策は河内町清掃大作戦を年2回実施。企業等で自主的にごみ

拾いを行う団体に町からごみ袋の配布とごみ回収の支援を行っている。最もポイ捨てされる場所は公共用地、道路の路肩等であるが、清掃しきれいになること、町民等がごみ拾いをする姿を見ることが捨てて人の意識が変わればと考えている。各地区でポイ捨ての多い場所には、区長の要望により、河内町、龍ヶ崎警察署連盟の注意喚起看板を配布している。今後、河内町ごみの散乱防止に関する条例に沿って環境美化指導員を委嘱し、ポイ捨ての監視や飼犬を屋外で運動させる際のマナー等に関して指導を行い、指導員が通常の散歩時に腕章をつける、車にマグネット看板等をつけて町内を走行してもらう等を考えている。人のモラルに訴える活動でもあり時間を要することが予想される。

空き校舎の 利活用問題について

議員

旧河内中学校の跡地有効利用を役場庁舎として利用したかどうか。

総務課長

現在、町では役場庁舎として旧河内中学校の空き校舎を利活用する具体的な計画はない。現在の役場本庁舎は建築後ほぼ50年が経過し、狭い上に老朽化が進み、修繕費や光熱水費等の維持管理費の負担がふえている。平成23年に耐震補強工事を行ったが、大規模地震等の発生時、防災拠点として十分な機能が発揮できるのかの懸念がある。

町では、町長の指示により新しい役場庁舎の整備についての検討を始めており、新庁舎は将来のまちづくりの拠点として、行政サービスの向上や利用者の利便性、防災拠点等の複合的な役割を担うことになる。本年度から管理職員等により構成される新庁舎検討庁内会議を設置し、現在の役場本庁舎の課題の整理や新庁舎建設に当たった条件等の検討を進めている。また、各課から選ばれた若手職員によるワーキンググループの設置をすることで、幅広い年齢層の職員の意見を取り入れた検討を行っている。

旧河内中学校の空き校舎の利活用も選択肢の一つと考えられるが、新

庁舎に求められる諸条件、空き校舎を役場庁舎として使用するための改築工事、移転等に伴う財政負担等、町長及び財政担当等と十分な協議を行うことが必要である。

議員 立地的にも中学校の建物の耐用年数からも遜色ない。新築の場所によっては用地買収も含め、金額的にも相当額要し、理想は防災拠点から成る複合施設で、まちづくりの拠点だと思つが、どこかで妥協点を見出さないと難しい問題ではないか。

町長

まだ何年後になるか、できるかどうかかわからないが、まず検討することに価値がある。この庁舎の将来を考えたとき、これから使う頻度の高い若い人たちがどういう考えを持っているかの意見を聞いている。今後、外部の方も含めた検討会議を設置すると、旧河内中学校の改修も出ると予想される。ほかにもいろいろやらなくてはいけないこともあると思うが、皆で意見を出し合い、検討することが大切と考える。





諸岡 周示
議員

第五次総合計画における 町の取り組みについて

議員 第五次総合計画も3年目に入ろうとしているが、これからの具体的な進め方について、人的な部署も含めて伺いたい。

企画財政課長

第五次河内町総合計画は、河内町総合計画策定条例の規定に基づき、町が目指すまちづくりの基本的な指針として、計画の実現に向け各課一体となり推進している。かわち革命・消滅可能性都市からの挑戦をテーマに掲げ、ひと・しごと・まちを計画の基本構想とし、前期5年、後期5年の計画期間をもって各分野別に施策を展開している。基本構想の「ひと」では、よそにない教育立町とし

て、今年度開校した小中一貫校かわち学園では質の高い魅力ある教育の充実、郷土愛の高い人材の育成などを施策として推進。「しごと」では、米で世界を驚かすとして、町の基幹産業のお米の消費拡大、高付加価値化や農業所得の向上が期待できる新たな食材のライスジュレの需要拡大に向けた取り組みを推進。ライスジュレは、河内町総合戦略の中でも、6次化商品の開発を通して商品化を進めている。

これまでの取り組みとして、国が進める地方創生関連交付金事業として事業計画期間3カ年の採択を受け、国際食品・飲料展FOOD EX JAPAN2016へ出展、平成29年度と今年度、ライスジュレを原料に用いたグルテンフリー食品の新たな開発を目的としたグルテンフリーレシピコンテスト決勝大会を中央公民館で開催した。レシピコンテストでグランプリとなったレシピは、ライステクノロジーかわちを通してレストランやカフェへ提供している。昨年11月22日、ライスジュレを原料とした学校給食を提供し、小麦によ

るグルテンアレルギーを持つ児童生徒にも安心して提供できるため、今後も学校給食メニューとして普及拡大につなげていきたい。ライスジュレを原料に商品化され流通しているものを町特産品としてふるさと寄附の返礼品に加える準備を進めている。河内町食改善グループなど各種団体や町内外の商店において開発検討されてきた商品も直販センターのリニューアルに合わせて、販売及びPRにつなげていきたい。

農業従事者の高齢化や後継者不足などに備え、農地の集約化による農業の効率化やドローン等の先端技術を活用した農業経営の高収益化に向けた取り組みについてもテーマに掲げている。国の地方創生関連交付金を活用し、ドローンによる農業利用のコンテストを株式会社アイ・ロボティクスと共同開催し、一般の来場者に加え、農業関係者も多く来場され、関心の高まりが見受けられた。イベントを通し、農業従事者と技術開発に携わる方々が直接的に情報交換及び実証実験等もできる新たな農業技術の集積及び発信の拠点とし

て、専門的知識を有した人材の育成につなげていきたい。

基本構想「まち」では、不便ながらも日常生活に支障を来すことなく、安心・安全に暮らせるまちづくりを目指し、小中学校の統合に伴う空き校舎、町内の空き家、空き施設利活用による小さな拠点づくりをテーマに掲げ、再利用を進めている。直販センターはネットワーキ化の拠点として、町の活性化を促進する役割を担う重要な施設として総合戦略にも掲げ、他の直売所にはない魅力ある施設としてのリニューアル計画を現在進めている。



行政改革における役場機能と事務改善について

議員 町の事務改善が必要ではないか。行政改革を進めながら専門的な職員も早急に置くべきではないか。

総務課長

平成27年度から第5次行政改革大綱までの行政改革の内容を継承しつつ、持続可能な財政構造の確立に向けたさらなる改革を進めている。新行政改革は、毎年、町のホームページ及び「広報かわち」により主な取り組み状況等をお知らせしており、平成30年7月号で新行政改革の主な取り組み状況として、収納率の向上対策の推進、コンビニエンスストアによる町税等の納付、職員数の適正化による人件費の推移等、住民票、印鑑証明書、税務関係証明書の休日受け取りの実施等についてお知らせした。

町は行政ニーズの多様化等に対応するため、事務事業の見直しによる

職員定数の適正化の推進、職員の配置の適正化も図っている。秘書広聴課では新行政改革の諸課題の各年度の取り組み状況の取りまとめと公表を行い、平成30年度は各課に対し事務改善に係る要望事項の報告を求めヒアリングし、事務改善に係る要望等についての整理及び検証を行っている。事務改善が特に必要な課等に専門的な職員を配置することは町長とも相談し、各課からの事務改善の意見等も踏まえて行政ニーズの多様な増大等に対応するため、さらなる職員の適正配置に努めていく。

議員 庁舎は50年がたっており、早く検討委員会を立ち上げていただきたい。行政だけではなく、災害時の避難所、コミュニティの場所としての総合的な庁舎が必要であり、住民にアンケート調査を実施したらどうか。

総務課長

今後、外部委員も含めた新庁舎検討委員会の設立について町長と相談してまいりたい。新庁舎の整備は、

新たに建築するのか、空き校舎等を活用しての改修や改築で対応するかにかかわらず、大きな財政負担を伴うことになるため、整備費用の財源の確保や新庁舎整備に係る諸課題についても、町長及び財政担当等と十分な協議を行うことが必要。

新庁舎建設に係る住民アンケートは、アンケートの実施の方法や内容等、他の自治体等の事例も参考として検討課題とする。

町長

事務改善は、具体的にどういう専門職員が必要かを検討、相談していきたい。庁舎の検討委員会は、4月以降に委員会を設置していく。今後30年の間に大きな地震があるとよく耳にするが本当にきたときに、災害対策本部を機能させ、地域住民の避難場所の確保を考えなければならぬ。多機能的な避難所も含め、住民が利用している中に庁舎、役場の機能があるということが必要ではないか。今後、多方面からの意見を聞き、防災拠点としても早急な対応が必要であり、みんなで取り組んでいきたい。

議員活動

2/21 町村議会議員 自治研究会

県南の町村議会議員が一堂に会し、当面する諸問題について研修を行いました。

「環境問題を考える」

講師：生物学者 早稲田大学 名誉教授 池田清彦 氏





議会を**傍**聴して みませんか

議会はどなたでも傍聴することができます。
定例会は原則、3月・6月・9月・12月に開催されます。
詳しくは、議会事務局までお問合せ下さい。
☎ 0297-84-2111 内線 201

この議会だよりは、会議で行われた内容を要約してお知らせしております。詳しくは、町のホームページにある河内町議会より会議録をご覧ください。また、議会に関するその他の情報もご覧いただけます。

URL <http://www.town.ibaraki-kawachi.lg.jp/gikai/index.html>

なお、議会会議録は、公共施設（役場、福祉センター、農村環境改善センター、つつみ会館）にもありますのでご覧ください。

◆ 議長及び議員の主な動向 ◆

平成 31 年 2 月から平成 31 年 4 月

*** 2 月 ***	
4日	龍ヶ崎地方衛生組合全員協議会
6日	後期高齢者医療広域連合議会運営委員会・全員協議会
7日	広報委員会 稲敷地方広域市町村圏事務組合全員協議会
8日	稲敷地方航空騒音公害対策協議会
13日	龍ヶ崎地方衛生組合定例会
18日	町村自治功労者表彰式
19日	龍ヶ崎地方塵芥処理組合定例会 予算内示会 議会運営委員会
21日	町村議会議員自治研究会
22日	稲敷地方広域市町村圏事務組合定例会
25日	例月出納検査
26日	介護保険運営協議会

*** 3 月 ***	
2日	消防団小隊長会議
3日	ライスジュレレシピコンテスト
6日	第1回定例会開会／予算審査特別委員会

7日	予算審査特別委員会
10日	国民体育大会河内町実行委員会設立総会
13日	かわち学園卒業式
15日	第1回定例会閉会
18日	社会福祉協議会理事会
19日	田沼基金審議会 都市社会教育委員連絡協議会研修会 記者クラブ送別会
23日	こども園卒園式
25日	子ども・子育て支援審議会 例月出納検査
26日	シルバー人材センター理事会 成田国際空港騒音対策委員会

*** 4 月 ***	
5日	こども園入園式
9日	かわち学園入学式
14日	消防団新入団員任命書交付式・小隊長会議
17日	児童生徒交流研修事業実行委員会
23日	例月出納検査
25日	金江津駐在所開所式 広報委員会